

Microsoft トピックス情報 (2月度版)

※2026年1月19日時点の情報となり、今後変更となる可能性がございます。ご了承ください。



【レター改定】Microsoft 製品 価格改定について

Microsoft365にセキュリティ・管理機能の提供拡大に伴い、

2026年7月1日から**Microsoft 365 製品の価格改定(値上)**が発表されました。

レターが改定されたため、再度ご案内致します。

値上対象プログラム

EA、ESA、SCE、~~EES~~、MPSA、Select Plus、Open Value、Open Value Subscription、~~Open Value Subscription Education Solutions~~、~~School Agreement~~、CSP、Web Direct(MOSP)

対象となるお客様

法人、非営利団体(上記のライセンスで契約、契約更新されるお客様)

適用開始日

2026年7月1日

新機能

セキュリティ・管理機能提供の拡大

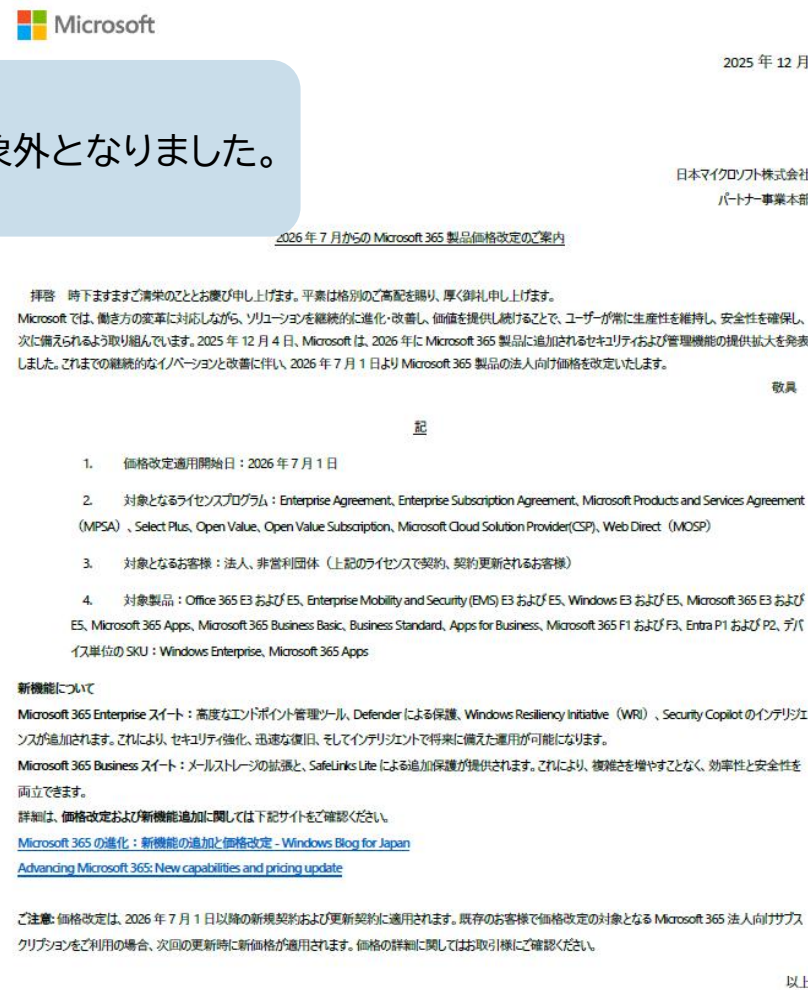
Microsoft Enterprise スイート

「高度なエンドポイント管理ツール」「Defenderによる保護」「Windows Resiliency Initiative」「Security Copilotのインテリジェンス」など、セキュリティ強化・管理機能が追加

Microsoft 365 Business スイート

メールストレージの拡張や「SafeLinks Lite」による追加のセキュリティ機能により、効率性と安全性を両立

一部のプログラムは値上げ対象外となりました。



※具体的な値上対象製品や価格については確認でき次第、ご案内します。



Microsoft 製品 価格改定について

Microsoft 365 Business Suites

プラン名	旧価格	新価格 (値上げ率)	変更
Microsoft 365 Business Basic	\$6.00	\$7.00 (+16%)	値上げ
Microsoft 365 Business Basic (no Teams)	\$4.40	\$5.40 (+23%)	値上げ
Microsoft 365 Business Standard	\$12.50	\$14.00 (+12%)	値上げ
Microsoft 365 Business Standard (no Teams)	\$9.29	\$10.79 (+16%)	値上げ
Microsoft 365 Business Premium	\$22.00	\$22.00 (0%)	据え置き
Microsoft 365 Business Premium (no Teams)	\$18.79	\$18.79 (0%)	据え置き

Enterprise Suites

プラン名	旧価格	新価格 (値上げ率)	変更
Office 365 E1	\$10.00	\$10.00 (0%)	据え置き
Office 365 E1 (no Teams)	\$6.79	\$6.79 (0%)	据え置き
Office 365 E3	\$23.00	\$26.00 (+13%)	値上げ
Office 365 E3 (no Teams)	\$14.45	\$17.45(+21%)	値上げ
Office 365 E5	\$38.00	\$41.00 (+8%)	値上げ
Office 365 E5 (no Teams)	\$29.45	\$32.45 (+10%)	値上げ
Microsoft 365 E3	\$36.00	\$39.00 (+8%)	値上げ
Microsoft 365 E3 (no Teams)	\$27.45	\$30.45 (+11%)	値上げ
Microsoft 365 E5	\$57.00	\$60.00 (+5%)	値上げ
Microsoft 365 E5 (no Teams)	\$48.45	\$51.45 (+6%)	値上げ

[Advancing Microsoft 365: New capabilities and pricing update | Microsoft 365 Blog](#)

Microsoft 製品 価格改定について

Frontline Suites

プラン名	旧価格	新価格 (値上げ率)	変更
Microsoft 365 F1	\$2.25	\$3.00 (+33%)	値上げ
Microsoft 365 F1 (no Teams)	\$1.75	\$2.50 (+43%)	値上げ
Microsoft 365 F3	\$8.00	\$10.00 (+25%)	値上げ
Microsoft 365 F3 (no Teams)	\$6.93	\$8.93 (+29%)	値上げ

Standalone Plans (単体ソリューション)

プラン名	旧価格	新価格 (値上げ率)	変更
Windows 11 Enterprise E3	\$6.63	\$7.63 (+15%)	値上げ
Windows 11 Enterprise E5	\$11.80	\$12.80 (+9%)	値上げ
Enterprise Mobility + Security E3	\$10.60	\$12.00 (+13%)	値上げ
Enterprise Mobility + Security E5	\$16.40	\$18.00 (+10%)	値上げ
Microsoft Entra P1	\$6.00	\$7.00 (+16%)	値上げ
Microsoft Entra P2	\$9.00	\$10.00 (+11%)	値上げ
Microsoft 365 Apps for business	\$8.25	\$10.00 (+21%)	値上げ
Microsoft 365 Apps for enterprise	\$12.00	\$14.00 (+20%)	値上げ

※本表は 2025 年 12 月時点の Microsoft 公表情報に基づく参考情報であり、
今後変更される可能性があります。



2025年11月1日より、Microsoft LSPプログラムにおける価格レベルによる割引が廃止されました。
価格レベルの統一化により、一部のユーザーでLSPプログラムで受けていた価格メリットが薄れます。

エンドユーザーにとっての「最適解」が変わることにより
今後、「LSPプログラムの継続」か、「CSPプログラムへ移行」か選択を迫られるユーザーの発生が予測される

ニーズに合ったプログラムを！

EA継続推奨ユーザー

ハイタッチ営業から特別条件が出ている場合
特価条件、契約年数の調整（3年→5年など）

教育機関
今回の制度変更は対象外のため

グループ会社を包括契約したい

日本拠点と海外拠点をマルチテナントで
利用したい

導入後はマイクロソフト直接の有償サポート希望

ご契約製品、特別条件等によって最適解が異なりますので
まずはDDKへご相談ください

CSPへの移行推奨ユーザー

ハイタッチ営業がない場合

ライセンスをすぐに利用したい
→すぐに開始、解約が可能

更新の手間を省きたい
→自動更新

購入後はDDKの無償サポートを活用したい
GDAP(代理管理権限)を付与いただくこと
でDDKが代理で顧客環境へアクセスし、
サポートを実施可能

3年一括購入をしたい ※一部製品に限定

マイクロソフトキャンペーンでお得に購入したい



教育機関向けご注文手配の注意事項

教育機関向け手配の際に必要なマイクロソフトの審査要件が厳格化されたことに伴い、**開通処理が進められないケースが増えています。**

お願い事項

以下の要件を満たしていない場合、開通処理が進められないケースがございますので、ご注文前に必ずご確認ください。

- ・顧客作成画面に登録頂きました「**法人名**」及び「**住所**」情報が該当ホームページに記載されている情報と合致していること
- ・登録アドレスが、**無料** または **onmicrosoft.com** の 電子メールアドレスではないこと
- ・希望ドメイン名については、スペースや特殊文字を使用せず、**該当教育機関名と近い名称**になっていること
例: DDK 小学校の場合 → ddkedu

【参考】

[教育機関のお客様にオファーを作成して販売する方法 - Partner Center | Microsoft Learn](#)



MCA同意について

CSPで提供するマイクロソフト製品をご利用頂くエンドユーザー様にはMCAの同意が必要となっております。

Microsoft のルール改正に伴い、2023年4月1日以前に同意されたユーザー様(テナント単位)については、再同意の対応が必要です。

当社の運用について

既存テナントの場合

DDKで契約している既存契約のテナントについてはMCA同意対応実施済みのため、作業不要となります。

新規テナント作成の場合

弊社では、MCA再同意作業を代行いたします。

※顧客側での操作は不要ですが、MCA同意完了時にマイクロソフトからグローバル管理者様宛にMCA案内通知メールが届きます。ご同意頂かない場合はライセンスの利用が出来ませんので、ご注意ください。

他社商流からの商流切り替えて頂く場合

該当テナントがDDKへの新規注文であり、かつMCA未同意、または2023年4月1日以前に同意されている場合は同意が必要となります。

Microsoft365管理センターに管理者権限を持つアカウントで下記URLにアクセスして同意をお願いします。

<https://admin.microsoft.com/AdminPortal/Home?ref=/BillingAccounts/agreement>

MCA同意されていない場合に
利用できなくなる機能

- ・新規注文
- ・変更注文
- ・本数変更を伴う更新注文
- ・アップグレード

メールサンプル

Microsoft 顧客契約に同意していただき、ありがとうございます

このメールは、最近の購入時にクラウドソリューション プロバイダーを通じて Microsoft 顧客契約に同意したことを確認するものです。

お客様の Microsoft 顧客契約を表示します。

Microsoft 顧客契約に同意しなかった場合、質問がある場合、または詳細情報が必要な場合は、クラウドソリューション プロバイダーにお問い合わせください。

プライバシーに関する声明 | プライバシーに関するお問い合わせ
Microsoft Corporation, One Microsoft Way, Redmond, WA 98052



猶予期間について

2026年5月4日より、更新されていないサブスクリプションのサービスにアクセスするための無料の猶予期間は廃止されます。

[クラウド ソリューション プロバイダー \(CSP\) サブスクリプションに拡張サービス条件 \(EST\) を使用する - Partner Center | Microsoft Learn](#)

当社の運用について

商流移管時運用

- ①ビジネスカテゴリ150本以下、エンタープライズカテゴリの場合：
既存契約と新規契約の契約期間を被せて頂けますようお願いいたします。
- ②ビジネスカテゴリ151本以上の場合：
P2Pにて対応致します。(既存契約のIndirectProvider・DirectCSPの承認が必要です。)

EST

2/17現時点ではDDKとして取り扱わない予定です。
ただし大型案件等でご要望があった際にはご対応できるかどうかも含め、現在社内で検討中となります。

その生成AIサービス、本当に安全ですか？

生成AIのシャドー利用時のリスク

リスク1



アップロードしたファイルが外部に流出するリスク *1



リスク2



プロンプトやファイルの内容がAIの学習に使われるリスク *2



*1: 契約書レベル情報の保護に関する記載がない場合有
*2: 企業で契約していないようなConsumer向け生成AIに多い



組織が許可した安全な生成AIの利用

Copilot Chatであれば
社外秘データも守り、業務効率化を図ることが出来る！

利用状況は
後から監査可能



やり取りは
全て暗号化



利用時は必ず
認証が必要



多くの無料・個人向け生成AIは各個人が既定の設定を変更し、学習に使わないようオプトアウトしない限りは
モデル学習に使われます

Microsoft Products and Services Data Protection Addendum(DPA)のもとで保護

[Enterprise data protection in Microsoft 365 Copilot and Microsoft 365 Copilot Chat | Microsoft Learn](#)

EDP が適用されている証拠として、UIに緑色の保護シールドアイコンが表示。プロンプトと応答はサービス境界内で扱われ、訓練に使用されない。

[Microsoft 365 Copilot Chat Privacy and Protections | Microsoft Learn](#)

78%の従業員が自分のAIツールを職場に持ち込んでおり、
セキュリティとデータ保護は、AI導入の準備に不可欠



乗っ取りは起きる前提です！

! **MFA(多要素認証)未設定** = 危険な状態のまま業務を続けている、ということ

いま、クラウド利用者のアカウントは日常的に狙われています！

パスワードだけでは防ぎきれず、**乗っ取りは「起きる前提」で備えるべきリスク**になりました。

Microsoftもこの状況を受け、2025年2月3日以降、Microsoft 365 管理センターへのアクセスに対して**MFAを必須化(段階展開)**しています。MFAは侵害リスクを大幅に下げられる効果的な対策です。

※ Microsoft 365/Azureをご利用の方は、下記 **多要素認証の設定確認** でMFAが有効になっているか必ず確認し、未設定の場合は直ちに登録してください。

不正アクセスでこんな被害が

メール乗っ取り

取引先・顧客になりすました連絡が行われ、誤送金や情報漏えいなどの二次被害につながる恐れがあります。社内外の信用低下に加え、事実確認・謝罪・再発防止などの対応工数が増加します。

クラウドデータへの不正アクセス

データの持ち出しだけでなく、改ざん・削除が発生する可能性があります。復旧やログ調査が長期化し、業務影響と追加コストにつながります。

管理者アカウント侵害

権限・設定を握られ、ユーザー追加や権限変更、設定変更が行われる恐れがあります。影響が部門を越えて全社に波及し、正常化までの負荷が大きくなります。

Azure の踏み台利用 (クラウド計算資源の悪用)

侵害IDを足がかりにVM/コンテナ等を大量作成され、スパムメール送信や暗号資産採掘などに悪用される恐れがあります。その結果、高額請求が短期間で発生し、最悪、会社の業績へのインパクトになりえます。

「パスワードは突破される」前提で、必ずMFAの設定を！

多要素認証の設定確認 以下の手順で多要素認証が設定されているかご確認ください。※設定にあたり、別途費用は発生しません。

1 多要素認証の設定方法を
確認してください。



Microsoft Authenticator で
microsoft Authenticator を
使用する365

2 設定できない場合は、
多要素認証のリセットをお試しください。



多要素認証(MFA)のリセット手順
- 2025年

3 リセット手順をお試しいただいた上で、設定・ログインができない場合のみ
第一電子株式会社 にご連絡をお願いいたします。

電話番号 **0120-743-506**

サポート時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
(祝祭日及び、当社指定休業日を除く)

最新発表

